

目では、そのような講義は皆無であった。「英語で講義するという件について、私の知るかぎり一つもなかった。英語のテキストを読むというのが唯一英語を使った講義で、それも非常に英語を使う度合いが少なかった」「英語での授業を増やして欲しい」「私自身、負担になるのですが、でも英語の授業を増やしてほしい」などがありました。

このように、昨年までは英語による授業はまだ一部に限られていました。しかし、今年あたりから英語を主に話す留学生の方々が増えてきたため、今では英語による授業は十七科目にまで増えているようです。私も英語による授業を受けてみて、自分の英語の表現力の貧しさを痛感しています。とくに、英語で議論をしていくうえでは、「聞いて話す」力をつけることは絶対に必要だと思いました。

人が話していることを理解できなかったり、自分の言いたいことを言えなかったりすることは、本当に悔しいものです。ですから、学部生の方で国際協力研究科への進学を考えている人は、英語の勉強をしっかりやってください。「英語」は勉強のための道具にすぎないかもしれませんが、しっかりと道具を備えておくことは無駄ではありません。語学の勉強は時間がかかるので、若いうちにやっておいたほうがいいと思います。

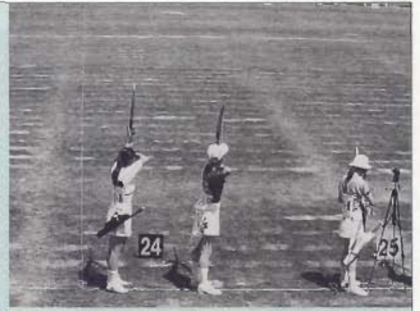
本人の「やる気」

また、国際協力研究科の授業のなかには、成績評価のための試験をおこなっ

ているものもありますので、入学しようと思っっている方はくれぐれも注意してください。もし大学院に入っても勉強したくない方は、国際協力研究科を選ばないことをおすすめします。ただし、すぐに就職しようと考えている方は選んでも問題はありませぬ。しかし、手を抜きすぎないように気をつけてください。あまり夢のない話ばかりになってしまいました。大学院で勉強していくうえで大事なのは本人のやる気だと思います。もちろん、勉強していくうえでは、調子のいい時もあれば悪い時もありません。それに、就職するか進学するかという進路の問題もあります。そういう問題があることを忘れてはいけません。が、とりあえず、何よりも勉強が好きで大学院に入ろうと考えている方は、ぜひ国際協力研究科に挑戦してみてください。

プロフィール

- ◇(なかしま・ひでき)
- ◇一九七二年生まれ
- ◇福岡県出身
- ◇専門として国際政治学を勉強中
- ◇とくに今は、修論のテーマとして国際組織論に取り組んでいます
- ◇趣味は乱読です



国体アーチエリー少年女子団体優勝！
—一射に心をこめて—

附属高等学校二年 岩 重 景

「明日の天気予報は雨なんだ。でも、風が吹くより、雨が降る方がいいか」。チームの三人で話しながら、試合前日、私はテレビを見たいのを我慢しながら、就寝しました。

翌十月十七日、五時三〇分起床。窓の外を見て、「雨が降っていない」と喜びました。しかし、朝の散歩と体操のために外に出てみてびっくり！すく強い風が吹いていました。散歩と体操の間、ずつと心の中で「大丈夫。射つ時になれば、こんな風止んでしまうよ。朝のうちだけ」と思いながらも、ずつと不安でした。

そして出発。試合会場に着いても風は止みませんでした。周囲の人たちが、「風が吹いているのは広島県だけじゃないんだから」と励ましてくださった。試合開始まで少し時間があったので、私は友だちからの手紙を読みました。そして、いろいろなことを思い出して自分を励ましました。自分は、ぜったい誰よりも練習しているはず。だから、落ちついて射てばぜったい当たるんだ！

私は射ち始めました。一本目はおおきくはずれました。たぶん、それで、不安な気持ちが全部ふっきたのだと思います。なぜか、

試合の時の一本目をはずすと、緊張している自分がバカらしく思えてくるんです。そうして射ち続けて、速報を見ると、広島県が一位でした。「風の影響はみんなじゃないか」。あらためて当たり前のことに気づいて、もつと落ち着きました。終わってみると、少年女子団体優勝という結果が出ていました。最後に、いろいろ教えてくださった先生がたや先輩、ありがとうございました。一緒に練習したクラブの友だちありがとう。私は、これからももつと頑張つて、日本一のアーチャーになりたいと思っています。(いわしげ・けい)

【編集部から】
岩重さんは、広島市で生まれ、現在附属高校二年。同校アーチエリー部OBの叔父の影響でアーチエリーを始める。ただいまアーチエリー二年。悩みは、名前だけを読んでときどき男子生徒と間違われることとか。普段はエレクトーンの演奏が趣味の、実はしとやかで、かわいい乙女です。



優勝の感激 (本人右端)